



### さくらこどもセンター エリクソン校

- 住所 丹波篠山市今田町下小野原46-4 ●送迎 無し
- 電話 564-4192 ●種類 児童発達支援/放課後等デイサービス

自然に囲まれた建物で、敷地内にある森での散歩も子どもたちの楽しみのひとつ。「TEACCH」という1000種類以上の手作りの教材があり、一人ひとりの発達特性に合わせた課題に取り組むことができます。また、個別の教育プログラムを作成し、成長や環境に合わせて見直しています。発達と教育、療育のミスマッチが起きないように、正しい観察眼を持って子どもたちをサポートします。

#### 「大丈夫」の花束をあなたに

ひとりじゃないから、できることがあります。ひとりじゃないから大丈夫。国、学校への訪問支援でご家庭と結ぶ三者の大丈夫もサポートしています。



代表 松本 緑さん



### 児童支援センター えがお

- (インター前) ●住所 丹波篠山市杉168-1 ●電話 558-7777
- (篠山) ●住所 丹波篠山市東吹354-1山文ビル3階 ●電話 550-0018
- 送迎 あり ●種類 児童発達支援/放課後等デイサービス

体を動かす運動用具が充実し、力いっぱい遊べる空間。ドイツ発祥の運動療法「コーディネーショントレーニング」などを取り入れ、遊びや体の刺激を通じて発達の土台を作りをサポートします。本人のやりたいことを尊重してとことん自由を感じながら、一人ひとりの「自分らしさ」を大切に、子どもたちが本来持つ才能と可能性を引き出すために、マンツーマンでお手伝いをしています。

#### 「改善」ではなく「発達」

「改善」は変わることをめざしますが、私たちは「個々の発達」をめざします。発達は短所が長所になることもあります。子どもは必ず発達します。まずご相談ください。



えがお 篠山 センター長 大字 穂波さん



### 放課後等デイサービス いっぱ

- 住所 丹波篠山市大野193 ●送迎 あり ●電話 558-9814
- 種類 放課後等デイサービス/児童発達支援(5月開始予定)
- ※5月から「からだと心のよりどころ室 いっぱ」に名称変更予定。

昨年できたばかりの木のぬくもりを感じる建物。子どもたちが卒業後も仕事を通じて社会に参加できるよう、同法人が運営する作業所で出た不良品などを取り入れた実践的な技術課題を行いながら、社会性を養っています。動作法やヨガ、書道、絵本の読み聞かせなどもあります。「人に愛される人」「親しまれる人」として社会で過ごせるよう、人間関係を大切にする心を育てています。

#### 心のよりどころ

保護者の方は孤立しがちで、誰に相談したらよいか分からず不安を持つ方が多くいます。いっぱいには、いつでも相談できるあなたの「心のよりどころ」をめざします。



児童発達支援管理責任者 藤原 樹子さん



可能性は無限大∞!

## 子どもの発達を支える施設

お問い合わせ 社会福祉課 ☎552-7102



※児童発達支援・放課後等デイサービスを利用するためには丹波篠山市社会福祉課への申請が必要です。

「できることを少しずつ」  
近年、発達に課題を抱える子どもが多くなってきました。文部科学省の調査では、学習や対人関係で困難を抱える小学生は10.4%、30人クラスであれば3人が発達障がいの可能性があることが分かっています。市内には、発達に課題を抱える子どもを支援する場所として、未就学児を対象とした「児童発達支援」、就学中の児童が放課後や夏休みなどの長期休暇に通う「放課後等デイサービス」があります。

これらの場所では、子どもたちが発達の特性に合わせた課題に取り組んだり、複数人で遊んだりすることで、日常生活に必要な動作や、集団生活を送るための力を養います。例えば、「45分椅子に座れるように」「鉛筆や物が持てるように」「先生の話が聞けるように」「かんしゃくを起さずお友達と遊べるように」など、支援を通して子どもたちが抱えている困りごとを一緒に緩和していきます。一人ひとりに合った支援をすることで、小さな「できた!」を増やし、自信や自己肯定感を養います。

まずは気軽に、市社会福祉課や各施設へご相談ください。

### 丹波篠山市児童発達支援センター わかば

- 住所 丹波篠山市畑宮324-2 ●送迎 あり(要相談)
- 電話 552-0236 ●種類 児童発達支援/放課後等デイサービス

旧畑小学校の校舎の面影が残る広々とした室内。言語聴覚士、作業療法士、音楽療法士、保育士と活動を通して成功体験を積み重ねながら「生きる力」を育む支援をしています。また、地域生活でも自分らしく伸びやかに過ごせるよう、学校・園などとの連携を図っています。「わかばに行きたい」「わかばで話をしたい」と安心した気持ちで利用できるセンターでありたいと考えています。

#### 子どものやりたい!できた!楽しい!をサポート

発達支援は「気付き」の段階が大切です。子どものキラキラした笑顔とご家族の安心できる笑顔が増えるよう、今できることを一緒に考えていきます。



施設長 藤本 健さん



# 地元で働く選択肢

Vol.14

新型コロナウイルス禍以降、地方での就職や移住を検討している人が増え、地方回帰が注目されています。市内にはどんな企業が活躍しているのか、インタビューを通じて紹介します！  
創造都市課 ☎552-5106



ミナト医科学株式会社 西紀工場  
中橋 悠太さん 19歳  
勤務年数：1年目  
出身：丹波篠山市  
卒業校：篠山産業高校

## ベテラン社員が語る 会社の魅力



**うちのアピールポイント！**  
製品の組み立てから検査、出荷までを一人が責任を持って担当します。流れ作業ではなく、「ものづくりの精神」を学べる環境があるのが特徴です。自分の手で新しい製品を生み出す喜びを感じながら働けることが、何よりの魅力です。  
会社は社員ファーストの環境が整っており、自分のライフスタイルに合わせて働くことができます。

**求める人材はこんな人**  
「仕事の意味や責任を理解し、やりがいを見つけられる人」「ものづくりの魅力を深く探求したい人」「チームの一員として、コミュニケーションを大切にできる人」に向いている仕事だと思います。ものづくりの喜びを感じながら、人々の健康を支える仕事をしてみませんか？

**ミナト医科学で働きたいと思ったキッカケ**  
高校時代、ソフトテニスの部活中に腰を痛め、整形外科でミナト医科学の理学療法機を使った治療を受けました。その経験がきっかけで、この機器を作る会社に興味を持ちました。調べてみると市内に工場があると知り、「自分も健康を支える仕事がしたい」と思い、入社を決めました。


**ここで働く魅力**  
丹波篠山市は都市部へのアクセスが良く、地元の友人も多いので安心感があります。また、職場は残業が少なく、定時に帰れるのでプライベートも充実させることができます。オンオフのメリハリがあり、働きやすい環境です。同年代の仲間が増えると嬉しいので、一緒に頑張ってくれる方をお待ちしています！


**中橋さんのある1日**

- 9:00 出社・朝礼
- 9:10 作業
- 12:00 ランチ
- 12:50 作業再開
- 15:00 休憩
- 15:10 作業再開
- 17:45 退社

**仕事内容**

現在は、運動機器などの製造を担当し、組み立て作業をしています。自分が一から組み立てた製品が、お客さまに評価され、「ありがとうございます」というメールをいただいたときは、本当にやってよかったと感じます。





**ミナト医科学株式会社  
西紀工場**

所在地：丹波篠山市川西137  
TEL：590-8002  
事業内容：医療機器やシステムの開発・製造・販売

**やさしさで、医療を科学する。**  
医療とは、傷ついた身体を回復させる行為であり、その根底には「人への思いやり」があります。患者さまはもちろん、医療スタッフや医療経営者にとってもやさしい製品を届けるために、日々努力を重ねています。

## 4月1日から 丹波篠山市 こども家庭センターを 開設します

市内にお住まいのすべての妊産婦や子育て世帯、子ども自身からの相談に一体的に応じるため、4月1日から「こども家庭センター」を市役所第2庁舎(社会福祉課内)および丹南健康福祉センター(健康課内)に開設します。  
これまで、別々の組織であった母子保健(健康課)と児童福祉(福祉事務所)部門を一体化し、妊娠前からお子さんが18歳になるまで、安心して暮らし、子育てができるように相談をお受けし、虐待の予防から子育ての悩みまで切れ目なく必要な支援を共に考えていきます。

あなたのこと、家族のこと、このようなことでお困りはありませんか

初めての妊娠・出産で不安がいっぱい

赤ちゃんが泣いてばかりだけど大丈夫？

子育てについて相談できる人がいない



子どもの発達が心配

子どもが言うことを聞かないのでイライラしてしまう

生活費で困っている

子どもが学校に行きたがらない

**こども家庭センターへのご相談は 一体的に支援**

**<妊娠・出産・産後・子育てについて>**

【ふたば】(丹南健康福祉センター内) ☎594-5080

【健康課】(丹南健康福祉センター内) ☎594-1117

- 妊娠、出産、産後の生活のこと、産前産後のこころと身体のこと
- 子どもの発達や家族の健康のこと
- 子育てのこと

(スタッフ)助産師、保健師など

**<子育てについて>**

【社会福祉課児童福祉係】(市役所第2庁舎内) ☎552-7101

- 18歳までの子どもとその家族に関する悩みや心配ごと(子育て、発達、人間関係、養育、学校生活など)
- 児童虐待やヤングケアラーなどの子どもに関すること

※子どもさんからの相談もお受けします。

(スタッフ)家庭児童相談員、保健師など

※丹波篠山市こども家庭センターの開設に伴い、子育て世代包括支援センター「ふたば」から、こども家庭センター「ふたば」に名称が変更になります。

# オーガニックビレッジ丹波篠山

問い合わせ 農都政策課 ☎552-1114

## 有機農業の勉強会を開催します

主催：丹波篠山ワクワク農都づくり協議会

日付	時間	場所	内容	実施形式
4月20日(日)	13:00～16:00	大山緑の会館、 大山地区内のほ場	土づくりと高温対策	座学、有機栽培の ほ場見学
8月9日(土)			水管理と病害虫防除の基本	
令和8年 2月14日(土)	9:00～12:00	丹波篠山市民センター	未定	座学

### 【講師】

- 宮本光祥さん (MOA自然農法文化事業団 自然農法普及員)
- 中末智己さん (篠山自然派)

### 【参加費】

市内在住・在勤の方  
= 1,000円/回  
上記以外の方 = 3,000円/回

### 【申込期限】 各回開催日の2日前

【申し込み方法】  
右記二次元コードから申込  
方法をご確認ください



## 取り組み事例を紹介したパンフレットを配布します

国では、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地をオーガニックビレッジとして、2030年までに200市町村の創出を進め、市では令和5年度から取り組んでいます。

このたび、4月号の広報紙と一緒に、農業者の取り組み事例を紹介したパンフレットを配布していますので、ぜひご覧ください。



## 大学連携でんしよばと

問い合わせ  
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎506-6628  
丹波篠山フィールドステーション ☎506-2366

### 第5回

## 丹波篠山研究発表会が開催されました

今年は、会場に124人の参加者が集まり、8件の研究報告、3件の活動報告がありました。

研究報告では、大谷大学、岐阜市立女子短期大学、京都大学、神戸大学の教員や学生、丹波篠山市職員から、多分野にわたるテーマで発表がありました。

活動報告では、ポスターセッションとして、関西大学、神戸学院大学、神戸大学から研究室活動や授業などの成果報告が行われました。

また、14の学生団体による県民局補助事業「学生等による地域貢献活動推進事業」の成果報告や、神戸大学の授業「実践農学」を履修する学生によるポスター展示、質疑応答も行われました。

さまざまな主体が関連しながら、今後も丹波篠山の研究や活動が発展することに期待します。



### 市長賞受賞者の声

岡田紗奈さん (大谷大学 2年生)

## 「福住でのモビリティマネジメントの実践報告」

研究成果を地域に還元したい、という思いのもと、地域の実態に即して調査を進めました。協力してくださった方々に感謝です。



## SPOT LIGHT

— スポットライト —

## 地域で活躍する団体をピックアップ 創造的職人宿場町福住事業協同組合が発足

近世の宿場町の面影を残し、2012年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された福住地区。選定されて以降、約180人が京阪神などから移住し、古民家などを改修してカフェや料理店、工房など、約50の事業者が開業されています。そんな福住地区において、このほど移住者の皆さんらが営む事業所の労務や会計処理、情報発信などをサポートする「創造的職人宿場町福住事業協同組合」(安達鷹矢代表理事)が発足しました。

これは総務省の「特定地域づくり事業協同組合」という制度を活用し、福住地区をはじめ東部6地区(日置、後川、雲部、福住、村雲、大芋)の安定した雇用を創出するため、組合に専門知識のあるスタッフを配置して、人材不足に悩む事業者の経営をサポートします。

「万全のサポート体制で起業する方を増やしていきたい」と話す安達代表理事。発足した組合には14事業者が参加。事務所は旧福住小学校を活用した「SHUKUBA(シュクバ)」に設置され、スタッフには、会計や労務を

担当する丸谷巨仁さんと、写真やデザインなどを手がける箕浦祐太さんの2人が各事業所に派遣されます。安達代表理事は、「組合員の困っていることや、事業を伸ばす上で足りないところを組合がバックアップし、地域全体の経済の活性化をはかっていきたい」と期待を込めて話されました。



丸谷巨仁さん、箕浦祐太さん、安達鷹矢さん(左から)

### 丹波篠山市役所では、どんな仕事に携わりましたか

米、茶、黒大豆、栗、山の芋など、丹波篠山を代表する特産物の振興をはじめ、肉牛などの畜産振興に関する事業、栗や山の芋の生産に関する機械補助の申請対応など、さまざまな業務に携わりました。また、直売所スタンプリリーやふるさと農業まつりなどのイベントを担当させていただきました。丹波篠山の特産物をきっかけに多くの方々イベントに参加していただけたらうれしい企画・運営を行いました。

### 特に思い出に残っている業務は何ですか

黒枝豆の販売解禁セミナーです。私は主担当ではなかったのですが、準備から本番当日まで動き回りました。市民の皆さんにとって、黒枝豆の販売解禁日は大切な日だということを感じることができました。解禁日直後の市内の熱気は忘れられません。

### 神戸市に戻って、この経験をどのように生かしていきたいですか

神戸市は都市近郊に里山が広がっている自然豊かな都市である一方、耕作放棄地の増加や有害鳥獣の問題など、農業が直面する現状は丹波篠山市と共通するところが多くあります。丹波篠山市で学んだこと、感じたことなどを神戸市に持ち帰り、優れた取り組みを参考にしながら、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

## 活動レポート

### 神戸市役所からの派遣職員 農都政策課 佐藤 幸司さん

令和6年4月に神戸市役所から丹波篠山市に派遣され1年間、農業関係の業務に従事されてきた佐藤幸司さん。4月からは神戸市に戻られることになりました。ここでは、丹波篠山で学ばれた活動の成果をお届けします。(聞き手=秘書広報課)

